

新撰組同志会ニュース 第17号
2012年8月8日発行
新撰組同志会
会長 盛孝光
顧問 緑健児
実行委員長 満留直行
事務局長 宮上郁代
LA新撰組局長 重田光康
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-7
百瀬ビル1F
TEL.03-5283-1550 FAX.03-6912-2183



新撰組同志会

SHINSENGUMI DOSHIKAI NEWS No.17

第11回 民謡民舞全国大会 青年部旗戦 優勝

森田美咲
MISAKI MORITA

■好きな言葉

carry out one's word.
言ったことは必ず実行すること。

有言実行

全力投球

devote all one's energy.
全力を傾けて物事に取り組むこと。

世界へ届け
美咲の歌声!



つかもと のり ちか
塚本徳臣プロフィール

身長 186cm
体重 93kg
誕生日 1974年2月4日
出身地 長崎県

上京前の長崎支部時代は山田政彦支部長、上京後は東京城南川崎支部入来武久支部長に就任する。

第6回全世界空手道選手権大会で優勝、その後、33連勝の記録を成し遂げた。それまで主流であった下段回し蹴り中心の相手から、ギャリー・オニールと一緒に練習した時に、ギャリーステップをヒントにして会得した軽快なフットワークと、「マッハ蹴り」と称される変則回し蹴り・膝蹴り・かかと落とし・胸回し回転蹴りなど、派手な大技を主体とした相手一本勝ちを積み重ねたことから、革命児と呼ばれた。

塚本理論（移動中に足を交差させる等）という独特な体術理論を持つ。「K-1等の興行的なものには興味がない、ただただ強くなりたいです」と雑誌のインタビューで答えたことがある。

2010年の第42回全日本空手道選手権大会では、同大会5度目の優勝を果たし、2011年の第10回全世界日本空手道選手権大会では、同大会2度目の優勝を果たした。

センスはいらない。努力する癖を身に付ける。

昨年の第10回全世界大会で劇的な世界王座返り咲きを達成し、選手生活のフィナーレを最高の形で締めくくった塚本徳臣さんにお話をお伺いしました。

——2012年は塚本さんにとって選手引退後の最初の1年目になるわけですが、どのような活動をしていく予定でしょうか？

いま道場生が約170人いて、朝練に出稽古に来ている選手を含めると約200人と自分はこの道場で接しています。今年の初詣では、その触れ合う全ての人たちが空手を通じて心の修行が出来ますようにとお祈りしました。強くなることも大事ですが、強くなる過程で心をきれいにすることが最も大切です。心がなければ強くなることに意味はないですし、心をしっかり育てていかないといけないので、みんなの魂が空手を通じてきれいになっていく活動をしていきたいと思っています。出稽古に来て、それをビデオに撮ってもいいと言う人がいますが、僕はあまり好きではないんです。それはこの一瞬一瞬を大事にしていなと思うんですよ。そういう人は習いながら「あとでビデオを見ればいいや」と思っていて、意識が半分くらいしかないんです。ビデオを撮ってなければ、ここで一生懸命に話を聞かないといけないし、しっかりと見ないといけないし、しっかりと感じないといけないって集中すると思うんですよ。だから自分は道場で、しっかりと人と触れ合って、見て、感じ合っで欲しいんです。

練習とは捨て身の修行です。命を捨ててかかるくらいの気持ちで練習して心を養う。



——世界チャンピオンになると全国各地からセミナーや講演会の依頼が来るのではないですか？

依頼は増えました。しかし、全部行くわけにはいかないですね。一番大事なのは自分の道場なので、組織はもちろん大切ですが、外に出すぎて自分の足元が狂ってしまうのはよくないです。自分の道場をちゃんとした上で、月に1回くらいの割合で役割を果たすつもりです。全部行ってしまうと自分を整えられないじゃないですか。研ぎ澄まされた動きが出来なければ説得力もないですし、まず自分が嫌です。空手が好きだから、自分が空手をやりたいです。

——大山倍達総裁が言われていた、60歳、70歳になっても牛を倒せる力を持っていたいというのに似ていますね。

まさにそうです。今でも毎日、達人になることを夢見て寝るようにしています。

——塚本さんにとって、道場とは何でしょうか？

道を教える場です。道場という字はそういう意味です。ジムではないんですよ。身体だけ鍛える場所ではなく、心も技も全部を鍛える場所なんです。そして、僕が教えることによって教えられる場でもあります。例えば、覚えが悪い人がいて苦戦するかもしれない。それはそれで一生懸命に教えるようにしますから僕も勉強になるし、僕も修行できますからありがたいと思ってやっています。昔は「本当に覚えが悪いな。もうやりたくないな」と思っていましたよ(笑)。でも今は、「よし、これは自分のためにもいい」と思ってやっています。そこでは絶対に諦めません。勝負と一緒にです。勝負は絶対に諦めないですから。勝つまでやります。

——そうやって教えられた人は、自分が教える立場になった時に同じように根気よく教えるでしょうね。

そうです。少年部で選手クラスってあるじゃないですか。僕はあまり好きではないから、絶対に作りません。もし作ったら、その子たちは全日本大会で優勝するかもしれませんよ。でも、そのクラスに選ばなかった子たちはどうなりますか？僕は昔、選ばれない子の方だったんです。



——塚本さんも落ちこぼれと言われるような生徒だったんですか？

僕なんか全然ですよ。でも、人より努力はしたと思います。東京に出てきてからは、年末年始も田舎には帰りませんでした。差がつくのは、他の人がやらない時じゃないですか。お盆も正月も帰らず、練習していました。何かをつかみに行く時は、何かを捨てないといけないですから。僕は東京に出て来た時に、先輩から「強くなりたかったら友だちを作るな」と言われました。でも、空手を一生懸命にやっているだけで、自然と仲間が増えていきました。

——格闘技に限らず、スポーツでトップに立つ選手はセンスがあると言います。センスは必要ですか？

センスはいませんが、それを続ける心の強さを持っているかどうか大事だと思います。忍耐力ですね。我慢ではないですよ。我慢は心の中に毒を作りますから、いつかの病気になる。努力を続けられる忍耐力、心の強い人間が強くなります。いくらセンスがあっても、途中で辞めていってしまう人間はいっぱいいます。そこがスポーツと武道の違いですね。僕がよく言うのは「努力する癖を付ける」ということです。頑張る癖で付くんですよ。手を抜く癖という言葉はよく聞いたことがあると思いますが、その逆で頑張る癖もあるんです。その癖を道場で身に付けることによって、学校や会社でも頑張る癖が出るんですよ。

八王子塚本道場 稽古日:月・水・金
17:00-18:30少年部
19:30-21:00一般部
住所:東京都八王子市横山町12-8ソエダビル3階
問い合わせ:TEL.03-3487-1901 ※世田谷道場

盛孝光会長から同志会のみんなに知らせたい “深い言葉”

徳は孤ならず、必ず隣あり 徳不孤 必有隣 論語:孔子

本当に徳のある人は孤立したり、孤独であるということはない。理解し助力する人が必ず現れる。高潔な人や謹厳実直な人はとかく近寄りがたく敬遠されがちなることもあるが、しかし、如何に峻厳、高潔で近寄りがたいと言っても真に徳さえあれば必ずしは理解し、その徳をしたい、教えを請う人や支持するよき隣人たちが集まって来るものである。

Los Angeles Shinsengumi 20th Anniversary Summer Festival

第6回 新撰組チャリティ夏祭り

真の誠を世界へ...

9/8(土) 前夜祭コンサート 9/9(日) 夏祭り本祭